

印旛普及だより

第 27 号

〒285-0026 佐倉市錦木仲田町8-1 TEL: 043-483-1128 FAX: 043-485-9502
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-inba/inba/mokuji/index.html>
発行: 印旛農業事務所 改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

これからの経営変革に向けた、 印旛農林業フォーラム

平成25年12月2日、印旛合同庁舎にて、農林業者と関係機関等142名が集まり、印旛農林業フォーラムを開催しました。

このフォーラムは、印旛地域の農林業者の団体が実行委員会を立ち上げ、主体的に、経営改革を目指し、次代の印旛農林業のヒントを発見・共有するために企画したものです。

「大転換期を生き抜く〜TPP・農政改革と農業経営〜」と題し、日本農業新聞論説委員室長の緒方大造氏による講演及びフロア・ディスカッションを行いました。参加者からは、「これからの農林業の厳しさを再認識した」という一方で、「厳しい

情勢への対応策は教えてもらってもでなく、自らが導き出すもの」といった感想も出され、自らの経営変革への強い決意が表れていました。



講師の話に熱心に聞き入る参加者

また、若手農業者の団体3組織が日頃の活動を発表し、会場

からは「若手の意欲が溢れていて、頼もしい」「いろいろな取組を支援したい」といった声が聞かれました。



若手女性団体の活動紹介

印旛農業事務所では、地域農業の維持発展のため、これからの農業を支える担い手育成と、農業所得の確保に向けた経営の多角化などを、農業者、関係機関と共に進めていきます。

◆作物◆

**水田一年生雑草を
取りこぼさないために！**

- 昨年は、ヒエやホタルイなどの取りこぼし雑草が目立ちましたが、除草剤を効果的に使用するためには、水管理が重要です。
- ① 水はたっぷり張りましょう！
除草剤の散布前に漏水がないことを確認し、散布時の水深は5 cm程度とします。
 - ② 代かきは丁寧に！
田面の凹凸によって除草剤の効果にムラが出やすくなります。
 - ③ 散布は均一に！
散布ムラがあると効果不足や薬害が発生しやすくなります。

初期剤の使用時期に注意！

水稲初期除草剤の多くの剤において、移植前の使用時期が**植代後～移植7日前まで**に変更になっています(図1)。代かき後に除草剤を散布する場合は、使

用時期に注意しましょう。また、散布後7日間は止水管理を徹底して、水田内の水を排水路へ流さないでください。

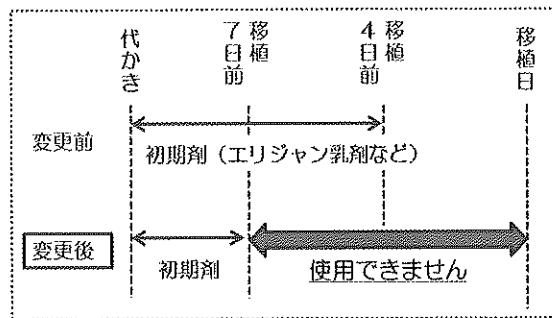


図1 登録が移植7日前までの初期剤の使用時期

小麦新品種「このそら」紹介

平成25年秋播きから栽培が開始されました。この品種は、「農林61号」と比較して、成熟期が1～5日早い、稈が短く倒れにくい、コムギ縞萎縮病に強いといった特徴があります。3月上旬に窒素を追肥することで増収効果が期待できます。

◆野菜◆

春野菜はトンネルで稼ごう！

春の野菜栽培では、トンネルを使い少し早出しすることで、有利な販売ができます。近年、産地の切り替え時期に当る春先の販売価格は、比較的高めで安定しています。さらに、トンネル被覆資材をすでに持っていれば、生産資材費も少なくて済むため、収益性が高くなります。

主な作目は、根菜類では、ダイコン、ニンジン、コカブ、葉菜類では、レタス、ブロッコリー、キャベツ、ハクサイ、豆類では、エダマメ、ソラマメなどです。レタスやブロッコリーなど育苗が必要な野菜で、育苗の労力が確保できない場合は、セル苗を購入する方法もあります。

トンネル資材と春先の労力を有効活用して、本格的な春夏野菜ができる前の収益を確保するために、導入を検討してみてください(図2)。

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	主な品種
ダイコン	○	○	—	—	—	—	—	■	春慶、春風太、など
ニンジン	—	—	○	○	—	—	—	■	彩誉、愛紅、など
レタス	—	—	○	○	—	—	—	■	シリウス、カーチス、など
ブロッコリー	—	—	—	○	○	—	—	■	ピクセル、おはよう、など
エダマメ	—	—	—	—	○	○	—	■	サヤムスメ、サッポロミドリ、など

凡例: ○ 播種 ● 定植 ■ 収穫

図2 主な作目の栽培歴

◆ 農産加工 ◆

**漬物の衛生規範が
改正されました。
特に、浅漬に注意を！**

1 漬物の種類

漬物は古漬け、浅漬けなど様々に分類されます。以前の漬物は塩分濃度が高く保存性が重視されていたが、近年好まれている浅漬けは、塩分濃度が低く、保存方法や賞味期限（消費期限）の設定に注意が必要です。

【古漬】季節ごとに収穫した素材を一次加工（塩蔵）して保存し、必要に応じて醤油や味噌をベースにした調味液に漬け込んだ（二次加工した）ものです。
【浅漬（調味浅漬）】生鮮野菜等を食塩、醤油、食酢等を主とする調味液、又は酒粕、ぬか等を主原料とする漬床で短期間漬け込んだもので、低温管理を必要とします。

2 浅漬の衛生管理を確実に！

平成24年8月、浅漬が原因の食中毒が発生しました。汚染原因は特定されていませんが、製造工程において、衛生管理上の複数の問題が指摘されています。浅漬は加熱工程がないため、

製造工程中で十分な殺菌ができません。原料から製品完成までの一貫した衛生管理を今一度見直して、美味しい漬物を安心して提供できるよう、作業の全ての場面を再チェックしてみましよう！

- ① 原材料は品質、鮮度をチェックしましょう。汚染のない原材料を使用するとともに、異物の混入に注意しましょう。
- ② 全ての工程（原材料・製造・保管）での「低温管理」を心がけましょう（特に製品は10℃以下で）。
- ③ 製造は、飲用に適した水を使って流水でよく洗浄します。塩素殺菌や加熱殺菌を実施しましょう。

◆ 果 樹 ◆

**花芽整理を行い
養分を無駄なく使う！**

1 花芽整理の重要性

高品質の梨を生産するためには、無駄な養分の消費を抑え、その養分を果実の生育に集中させることが重要です。梨は、花を咲かせるために貯蔵養分の6〜7割を使うと言われています。それに加え、必要数以上の花が結実した場合は摘果が大変になります。花芽整理は無駄な養分消費を抑えるだけでなく、作業労力も分散・軽減できるのです。

2 花芽整理の実際

花芽整理は、「幸水」を中心にを行います。短果枝の維持が難しい「あきづき」では、やり過ぎると花芽が確保できないので、注意が必要です。

- 具体的な方法としては、①ハサミで花芽や果台ごと切除する
②指で芽の部分のみをかき取る

方法があります。長果枝に着生したえき花芽は、基本的には摘らいで対応します。3月以降、急に大きくなる短果枝脇の小さな花芽も、かき取ります。

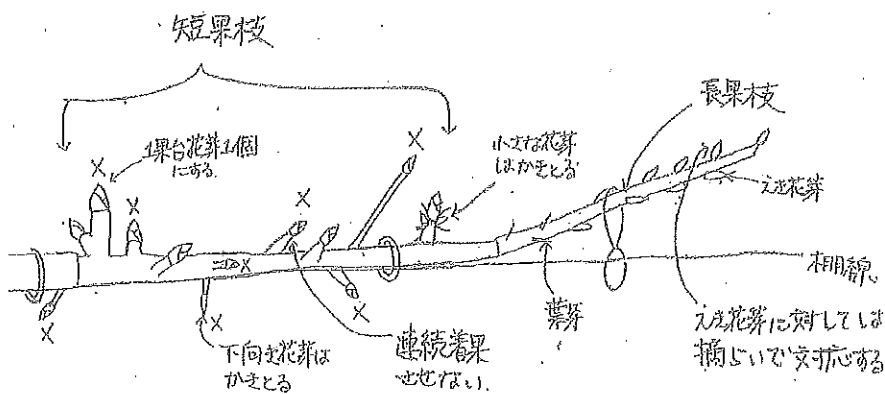


図3 短果枝、長果枝上の花芽の扱い方

花芽整理を行い、高品質な梨の生産を目指しましょう。

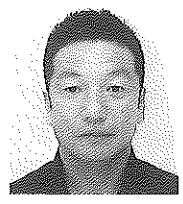
**新しい指導農業者・
農業者が認証されました**

平成25年度農業者等認証式典が11月19日に千葉県庁で開催され、当農業事務所管内では指導農業者2名・農業者6名が認証されました。

農業者は、地域農業の推進者として活躍される青年農業者を、指導農業者は、地域農業のリーダーとして青年農業者育成に尽力される方を知事が認証するものです。

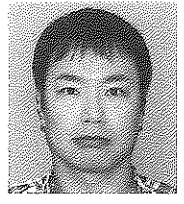
農業者

○瀧島 敦志氏 (成田市)



露地野菜経営。ニンジンを中心とした機械化一貫作業体系による省力経営を行っています。

○鈴木 孝徳氏 (佐倉市)



水稲経営。乾田直播栽培等の省力栽培技術を積極的に取り入れていきます。

○石渡正日宏氏 (佐倉市)



水稲経営。水稲の露地育苗等省力・低コスト技術を導入して

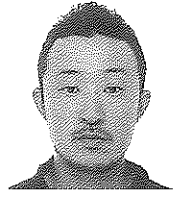
います。

○小山 裕之氏 (富里市)



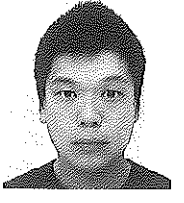
露地+施設野菜経営。土づくりや、環境にやさしい栽培技術の導入に先進的に取り組んでいます。

○関根 寿幸氏 (富里市)



露地+施設野菜経営。安定したスイカ生産を実現しています。

○吉川 勉氏 (富里市)



施設花き+露地野菜経営。消費動向や新品種の情報を積極的に集め、経営改善に取り組んでいます。

**農業経営体育成
セミナー生募集**

就農したけれど、基本的な農業技術が分からない、周りに同世代の仲間がいない。といった青年農業者はいませんか。

印旛農業事務所では、3年間の農業経営体育成セミナーを開催しています。

○誰が参加できるの？

新規に就農した青年農業者(概ね35歳以下)が対象です。

○何を学べるの？

農業経営に必要な基本的知識

・技術を習得できます。土づくり、病害虫防除、農業機械及び農業経営等に関する座学や、先進農家・農業関連産業への視察を行っています。また、同世代の仲間も拡がります。

○開催期間は？

1年目の基本研修、2年目の専門研修、3年目の総合研修に分かれ、半日〜1日間のセミナーを年10回程度開催しています。5月下旬に、開講式を予定しています。

○何名くらい受講しているの？

今年度は、47名が受講しています。

○興味のある方は、改良普及課まで御連絡ください。



○押田 泰一氏 (白井市)

果樹経営。大面積経営にもかかわらず、ポイントを押さえた栽培で高品質なナシを生産しています。



○五十嵐正三氏 (白井市)

果樹経営。作業効率の高い樹型作りなどで、高い平均反収を上げています。



指導農業者会との合同視察